

## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 ソールドアウト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6553 URL <http://www.sold-out.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 荻原 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 半田 晴彦 TEL 03(6686)0180  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	16,402	6.5	187	△45.8	195	△46.4	58	△74.7
2020年12月期第3四半期	15,403	7.2	346	△21.4	365	△12.3	232	14.2

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 59百万円 (△72.7%) 2020年12月期第3四半期 218百万円 (7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	5.60	5.59
2020年12月期第3四半期	22.25	22.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	7,409	3,134	42.1
2020年12月期	6,747	2,964	43.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,122百万円 2020年12月期 2,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年12月期の期末配当は未定です

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	10.5	340	△10.9	340	△15.6	100	△42.6	9.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想は2020年12月31日現在の発行済株式数（自己株式を除く）を使用しており、今回発表予想は2021年9月30日現在の発行済株式数（自己株式を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	10,579,650株	2020年12月期	10,469,300株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	307株	2020年12月期	226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	10,522,589株	2020年12月期3Q	10,464,175株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(会計上の見積りの変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から引き続き持ち直しの動きが見られる中、変異種の全国的な感染拡大により、2021年7月半ばより全国の一部地域において緊急事態宣言が発令される状況となりました。同年9月30日をもって緊急事態宣言は解除されたものの、足元では一定の経済活動の制限を受けました。

当社グループの主力事業分野である広告業界においては、2020年の日本の総広告費（注）が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、前年比88.8%の6兆1,594億円と9年ぶりのマイナス成長となりました。その中で、当社が手がけるインターネット広告市場においては、生活様式の変化によるデジタルトランスフォーメーションの加速や巣ごもり需要を取り込み、前年比105.6%の1兆7,567億円の市場規模となりました。しかしながら、感染者増加による悪影響を受ける可能性があり、今後も新型コロナウイルス感染症の動向が経済に与える影響に、十分注視する必要があります。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、当累計期間内においても、業績が低調に推移する場面はあったものの、全体としては売上高及び売上総利益は回復基調にあります。一方で、前年同四半期と比べると、販売費及び一般管理費については、中途入社者増により人件費が増加したため、結果として営業利益が減少いたしました。

以上の結果、当社の当第3四半期連結累計期間の連結業績は、下表の通りとなりました。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第3四半期 (累計)	2021年12月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	15,403	16,402	998	6.5
営業利益	346	187	△158	△45.8
経常利益	365	195	△169	△46.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	58	△173	△74.7

また、当社グループは、市場環境が大きくかつ急速に変化する中、迅速に意思決定を行い、中長期での事業拡大を進める体制を構築するため、2021年4月1日よりカンパニー制を導入しております。今後収益の柱となるビジネスの種別・状況毎に、「マーケティングカンパニー」「ソフトウェアカンパニー」「メディアカンパニー」「DXカンパニー」の4つのカンパニーを設置しました。これに伴い、第2四半期連結会計期間より、従来の「ネットビジネス支援事業」の単一セグメントから、各カンパニーを基礎とした報告セグメント（「マーケティング事業」「ソフトウェア事業」の2つの報告セグメントと、「その他」の3区分）に変更しております。各セグメント及びその事業内容については下表の通りです。なお、前年同四半期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## &lt;セグメント区分について&gt;

セグメント名	所属カンパニー (所属法人)	詳細
マーケティング事業	マーケティングカンパニー (ソウルドアウト株式会社)	デジタルマーケティングサービス(インターネット広告、データマーケティング・コンサルティング)
ソフトウェア事業	ソフトウェアカンパニー (SO Technologies株式会社)	ATOM、ライクル、AG-Boostを中心とした、ソフトウェアサービスの開発・販売
その他	メディアカンパニー (メディアエンジン株式会社)	コンテンツマーケティングによる集客及び収益化支援
	DXカンパニー (アンドデジタル株式会社)	データ可視化によるDXコンサルティング支援、クラウドサービスのインテグレーション、DX人材の人材派遣・育成サービス

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

## &lt;セグメント別業績&gt;

(単位：百万円)

		2020年12月期 第3四半期 (累計)	2021年12月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
マーケティング事業	売上高	14,396	15,030	634	4.4
	売上総利益	2,116	2,050	△65	△3.1
	営業利益	998	809	△188	△18.8
ソフトウェア事業	売上高	956	1,278	322	33.7
	売上総利益	587	715	128	21.8
	営業利益	148	123	△25	△17.1
その他	売上高	332	569	237	71.3
	売上総利益	211	462	251	118.9
	営業利益	△67	△60	7	—
調整額※	売上高	△282	△477	—	—
	売上総利益	△84	△94	—	—
	営業利益	△732	△685	—	—
合計	売上高	15,403	16,402	998	6.5
	売上総利益	2,830	3,134	303	10.7
	営業利益	346	187	△158	△45.8

※ 調整額は、セグメント間取引及び報告セグメントに帰属しない全社費用です

## &lt;マーケティング事業&gt;

当社の主力事業であるデジタルマーケティング事業は、検索連動型広告を主とした運用型広告を中心にサービスを提供し、売上高は微増となりました。一方、メディアからのインセンティブ獲得が前年同四半期比で減少したことにより、売上総利益は減少いたしました。また、中途入社者の増加等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益が減少いたしました。

## &lt;ソフトウェア事業&gt;

顧客の年度末需要の取り込みにより伸長した「AG-Boost（運用型広告を中心とした自社開発ツールと人的支援のオールインワンサービス）」、及び新規顧客獲得が好調に推移した「ライクルGMB（Googleマイビジネスの簡易的な登録と集客を支援するサービス）」の貢献により、売上高及び売上総利益は好調に推移いたしました。一方、エンジニアを中心とした中途入社者等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益が減少いたしました。

## &lt;その他&gt;

メディアカンパニーにおいては、メディアのマネタイズ支援サービスが継続して伸長し、業績を牽引いたしました。同サービスは新規事業として投資を継続しておりますが、その成果が順調に拡大しております。

DXカンパニーにおいては、アンドデジタル株式会社への社名変更やグループ内組織再編による事業の承継等を行い、2021年7月1日以降の新たな組織による営業を開始いたしました。

(注) 出典：株式会社電通「2020年 日本の広告費」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べて661百万円増加し、7,409百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、ソフトウェアが増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べて492百万円増加し、4,274百万円となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べて169百万円増加し、3,134百万円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、2021年2月9日付「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2021年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,397,256	2,450,742
受取手形及び売掛金	2,558,674	2,933,478
その他	88,848	172,202
貸倒引当金	△8,576	△5,012
流動資産合計	5,036,203	5,551,411
固定資産		
有形固定資産		
建物	454,497	454,497
減価償却累計額	△8,466	△31,703
建物(純額)	446,031	422,793
工具、器具及び備品	168,474	187,347
減価償却累計額	△25,017	△50,461
工具、器具及び備品(純額)	143,457	136,886
有形固定資産合計	589,488	559,679
無形固定資産		
ソフトウェア	497,268	588,712
ソフトウェア仮勘定	106,322	101,211
のれん	156,641	170,051
その他	2,717	3,703
無形固定資産合計	762,949	863,679
投資その他の資産		
敷金及び保証金	285,707	217,969
繰延税金資産	56,274	42,599
その他	31,148	187,054
貸倒引当金	△14,323	△13,324
投資その他の資産合計	358,806	434,298
固定資産合計	1,711,244	1,857,657
資産合計	6,747,447	7,409,068

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,121,943	2,387,373
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	3,534	105,028
未払金	430,621	191,192
未払費用	247,314	220,158
未払法人税等	34,733	390
その他	207,056	237,213
流動負債合計	3,545,202	3,141,357
固定負債		
長期借入金	91,230	987,040
資産除去債務	143,622	143,658
その他	2,767	2,777
固定負債合計	237,620	1,133,475
負債合計	3,782,823	4,274,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	600,658	681,395
資本剰余金	559,538	640,275
利益剰余金	1,805,827	1,801,980
自己株式	△726	△868
株主資本合計	2,965,298	3,122,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△694	△11
その他の包括利益累計額合計	△694	△11
新株予約権	19	11,464
純資産合計	2,964,624	3,134,235
負債純資産合計	6,747,447	7,409,068

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	15,403,698	16,402,682
売上原価	12,572,863	13,268,491
売上総利益	2,830,835	3,134,190
販売費及び一般管理費	2,484,583	2,946,605
営業利益	346,251	187,584
営業外収益		
受取手数料	300	—
助成金収入	—	3,620
補助金収入	19,427	12,002
その他	3,003	2,082
営業外収益合計	22,731	17,705
営業外費用		
支払利息	1,124	1,735
株式交付費	—	2,849
新株予約権発行費	—	2,583
投資事業組合運用損	517	1,802
貸倒引当金繰入額	1,053	—
その他	668	404
営業外費用合計	3,363	9,377
経常利益	365,619	195,913
特別利益		
投資有価証券売却益	—	659
特別利益合計	—	659
特別損失		
固定資産除却損	123	78,922
本社移転費用	12,901	—
特別損失合計	13,024	78,922
税金等調整前四半期純利益	352,594	117,650
法人税、住民税及び事業税	108,730	44,584
法人税等調整額	25,326	14,097
法人税等合計	134,056	58,682
四半期純利益	218,537	58,967
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,264	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,802	58,967

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	218,537	58,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△298	682
その他の包括利益合計	△298	682
四半期包括利益	218,239	59,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,504	59,650
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,264	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間において、2021年5月10日開催の当社取締役会において決議された譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったこと等により、資本金80,736千円、資本剰余金80,736千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金681,395千円及び資本準備金640,275千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	マーケティング事業	ソフトウェア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,228,555	907,210	15,135,766	267,931	15,403,698	—	15,403,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	168,050	49,576	217,627	64,780	282,407	△282,407	—
計	14,396,606	956,787	15,353,393	332,711	15,686,105	△282,407	15,403,698
セグメント利益	998,035	148,416	1,146,451	△67,868	1,078,582	△732,330	346,251

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DX事業及びメディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△732,330千円には、セグメント間取引消去59,470千円、報告セグメントに配賦していない全社費用△791,801千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	マーケティング事業	ソフトウェア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,740,367	1,222,136	15,962,504	440,177	16,402,682	—	16,402,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	290,483	56,832	347,316	129,800	477,117	△477,117	—
計	15,030,851	1,278,969	16,309,821	569,977	16,879,799	△477,117	16,402,682
セグメント利益	809,906	123,045	932,951	△60,313	872,637	△685,053	187,584

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DX事業及びメディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△685,053千円には、セグメント間取引消去131,388千円、報告セグメントに配賦していない全社費用△816,441千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2021年4月1日より導入開始したカンパニー制への組織改革によるグループ内会社分割に伴い、第2四半期連結会計期間より、従来の「ネットビジネス支援事業」の単一セグメントから、「マーケティング事業」と「ソフトウェア事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。